

睡蓮の折り方

--- 谷折り



- - - 山折り

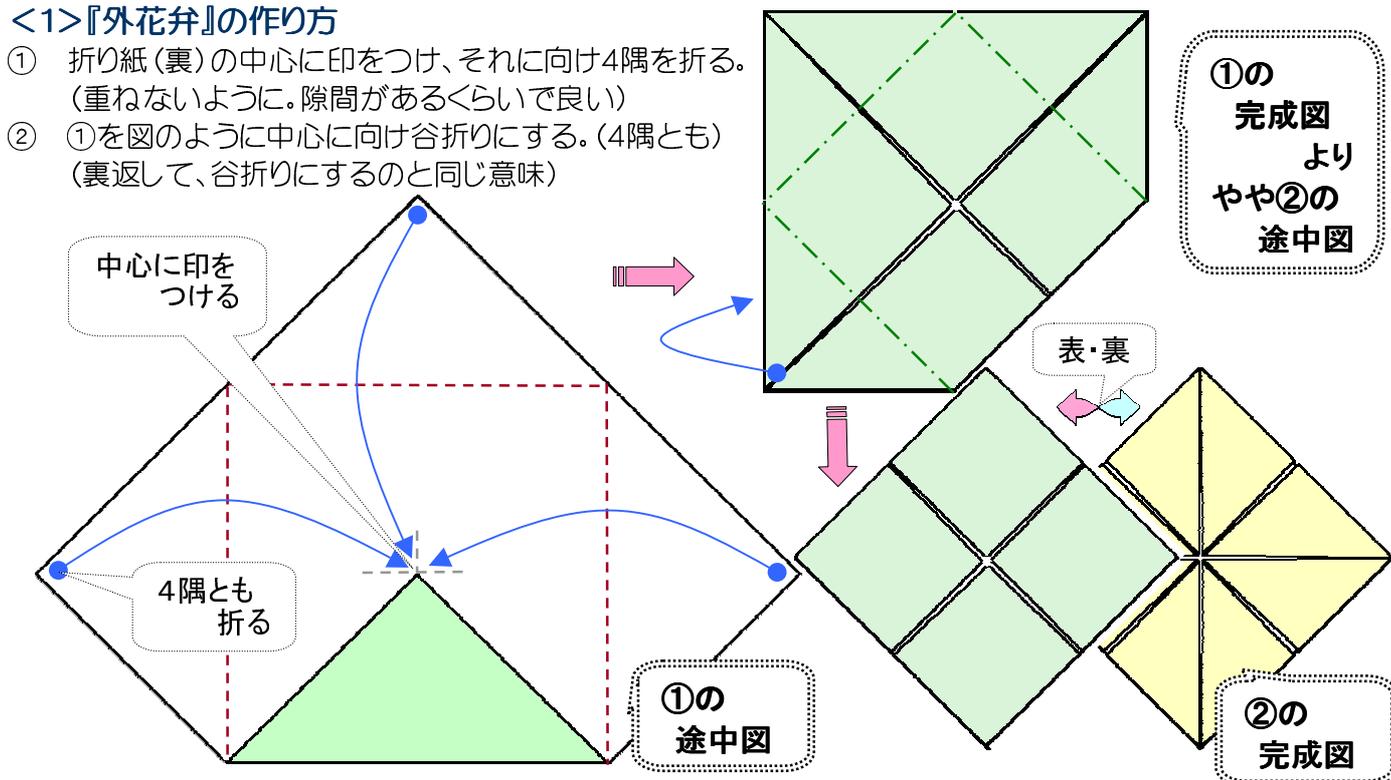


=裏返して谷に折る

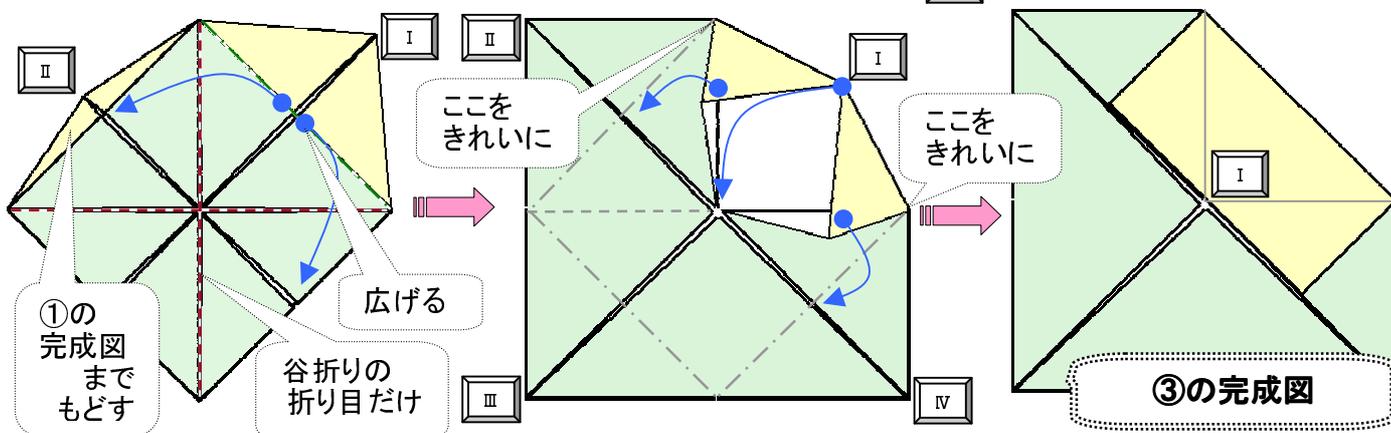
睡蓮は独楽の折り方の応用です。3枚の折り紙で別々に部品を作り、組み立て、最後に手を加え花びらように仕上げていきます。(便宜上、3枚の折り紙を、『外花卉』『中花卉』『内花卉』と呼ぶことにします)

<1>『外花卉』の作り方

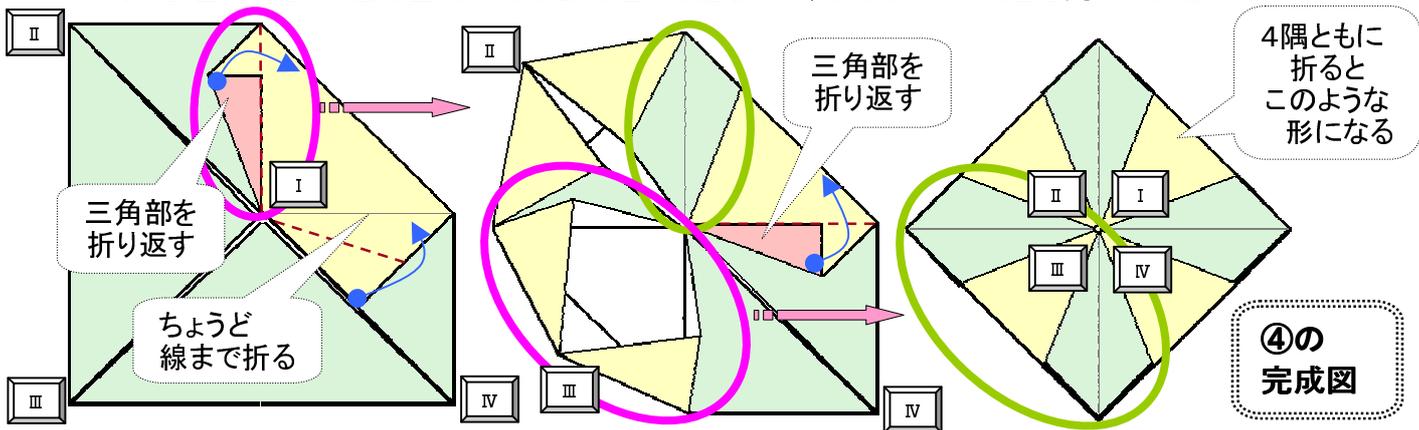
- ① 折り紙(裏)の中心に印をつけ、それに向け4隅を折る。(重ねないように。隙間があるくらいが良い)
- ② ①を図のように中心に向け谷折りにする。(4隅とも)(裏返して、谷折りにするのと同じ意味)



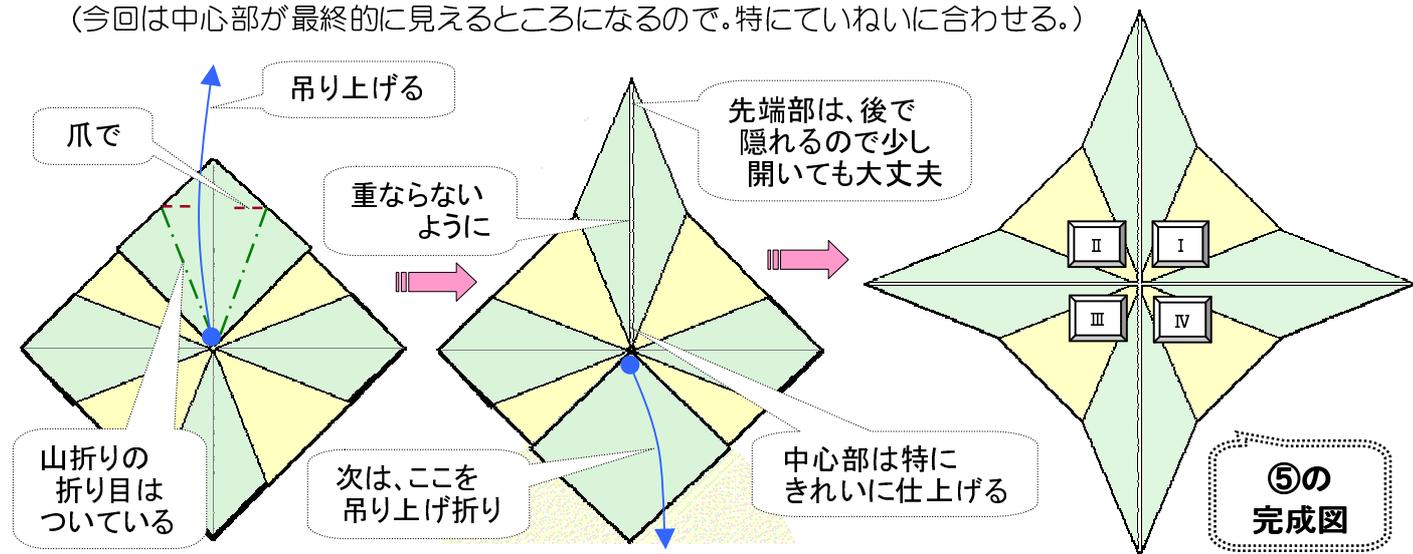
- ③ ②の表側に縦横の谷折りの折り目をつけ、①までもどし。次いで、《隅I》だけ、図のように中を広げる。



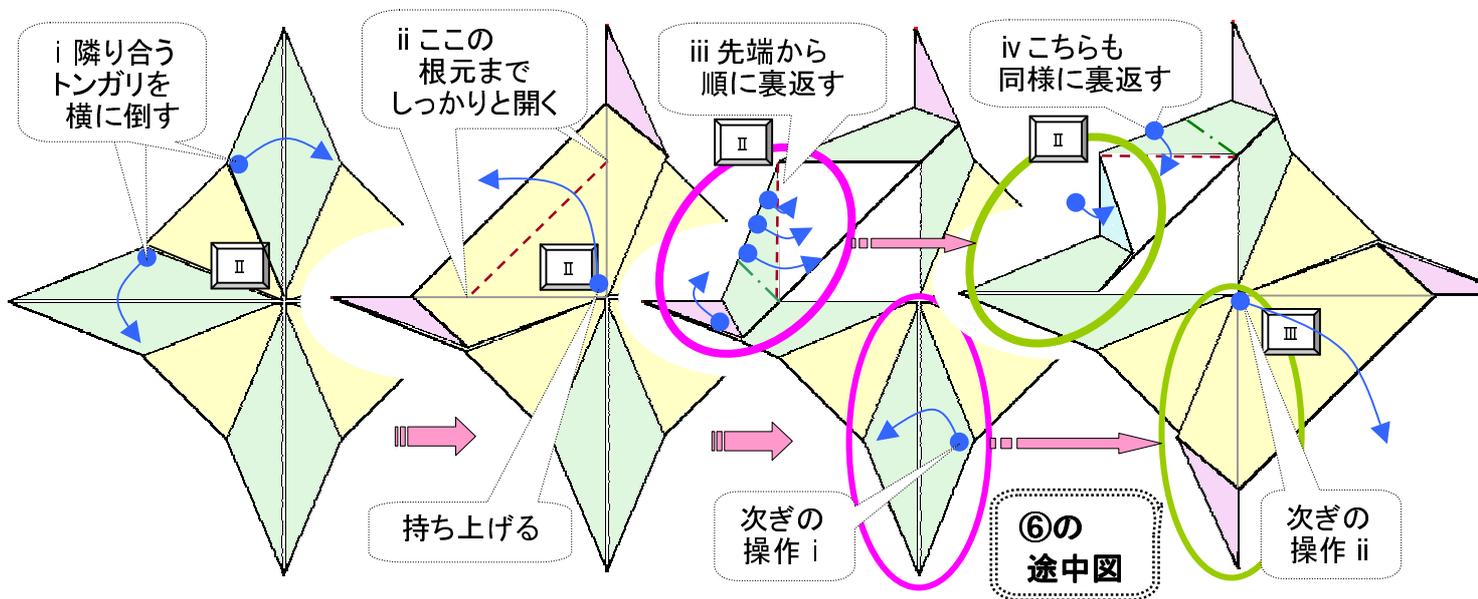
- ④ ③に続き《隅I》について、直角三角形の部分を中央から半分の折り目をつける。次いで、図のように、この直角三角形部分を折り返す。(最終的には4隅とも同様に折る)



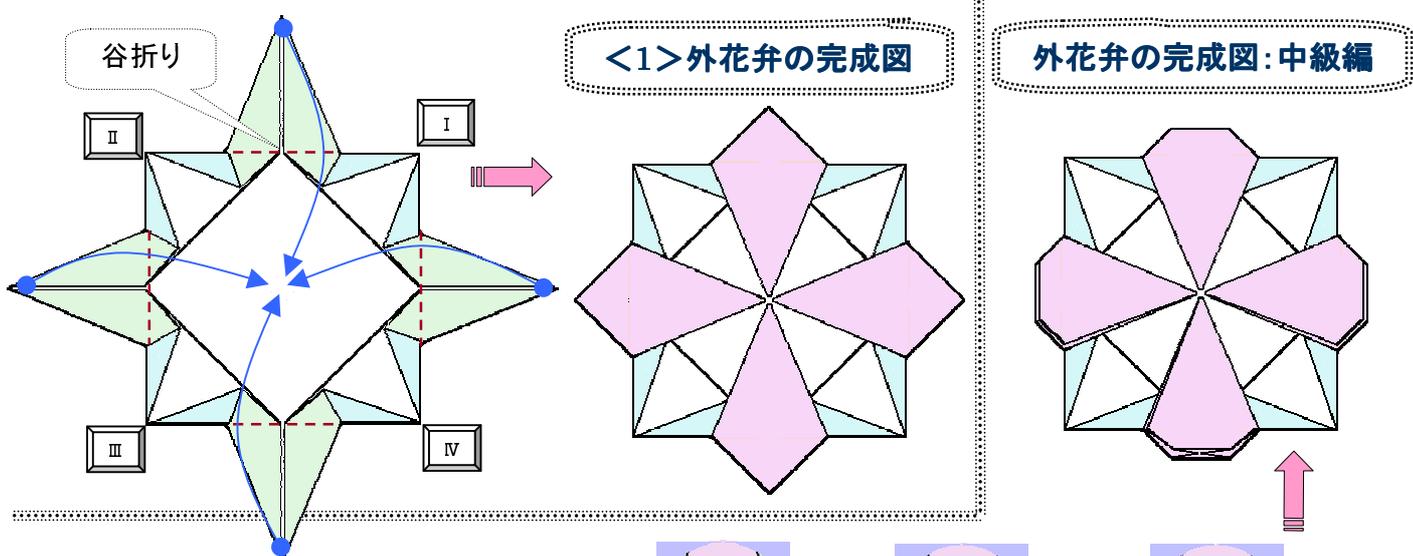
- ⑤ ④の完成から1つの隅を山折りを広げると四角形が現れる。この四角形を「吊り上げ折り」で折る。
 (今回は中心部が最終的に見えるところになるので、特にいねいに合わせる。)



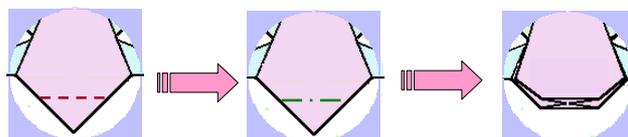
- ⑥ **II** について、i 隣り合う一対のトンガリ部分をお互い反対側に倒す。ii 図のように中心部を持ち上げる。
 iii、ivは図の谷折りの位置を良く見て、このこの位置で折り返しを行い花弁状の形を作る。



- ⑦ ⑥を残りの4隅ともに行い、最後に4つのトンガリを中心に折れば完成。

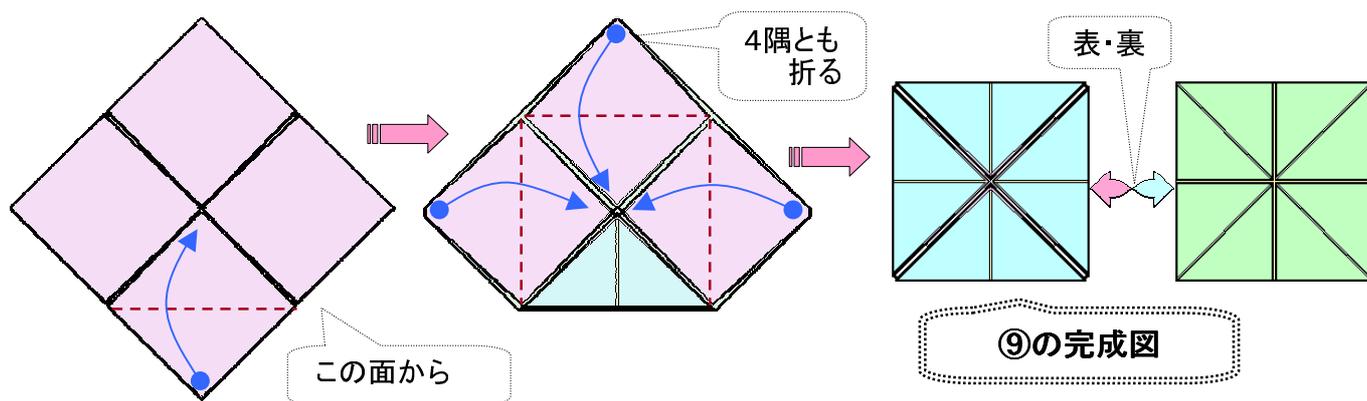


- ⑧ <<中級編>> 出っ張りを沈み折りにする。これは好みです。

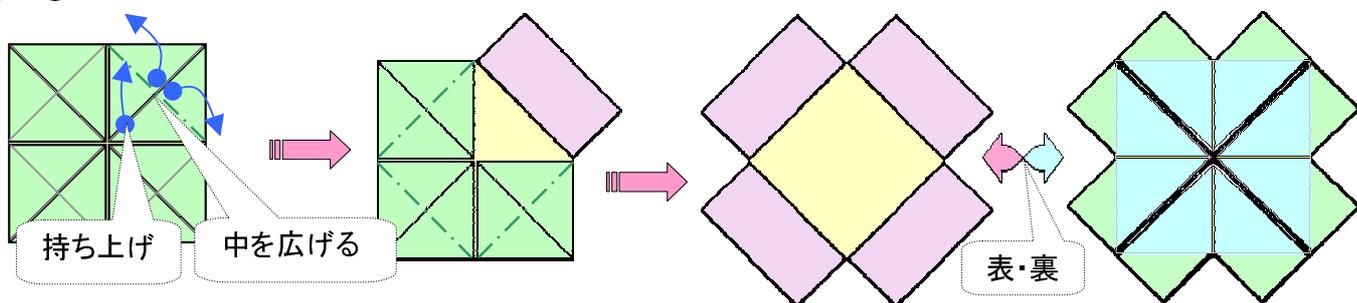


<2>『中花卉』の作り方 (<1>外花卉の②まで全く同じです。その続きが⑨です)
 (結果的には、奴さんの折り方とほぼ同じですが、ていねいを心がけてください)

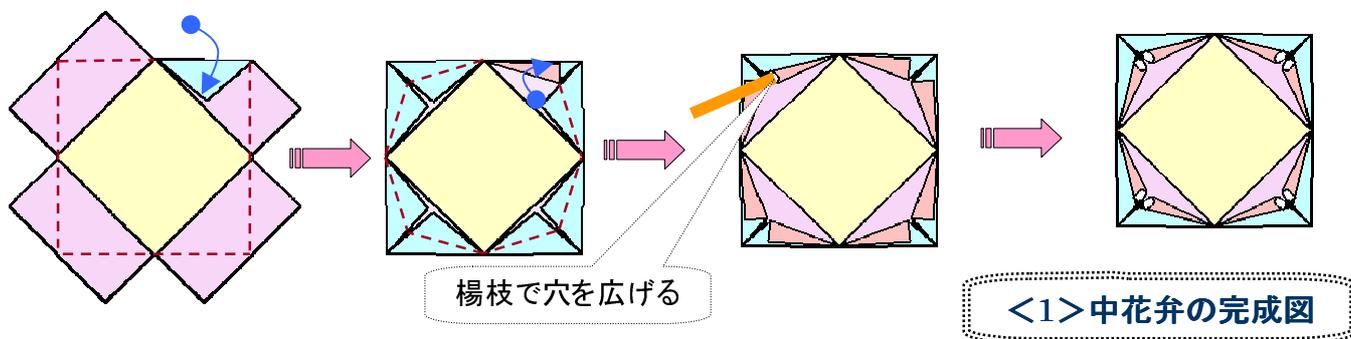
⑨ ②の完成図の表側にし、その4隅を山折り(手前)に折る。



⑩ ⑨の完成図の裏から始めて、ちいさな正方形を、奴さんの袴折りの要領で図のように両側に広げる。



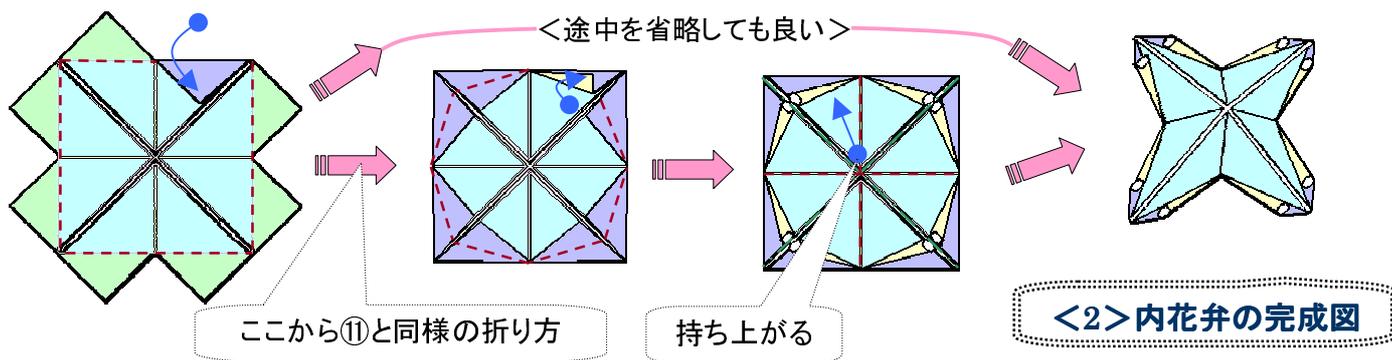
⑪ ⑩の表面の出っ張りの三角形を、図のように谷折りで2回折り、楊枝を使って空洞を作る。(8ヶ所とも)



<2>『内花卉』の作り方 (<2>の⑩まで全く同じです。その続きが⑫です)

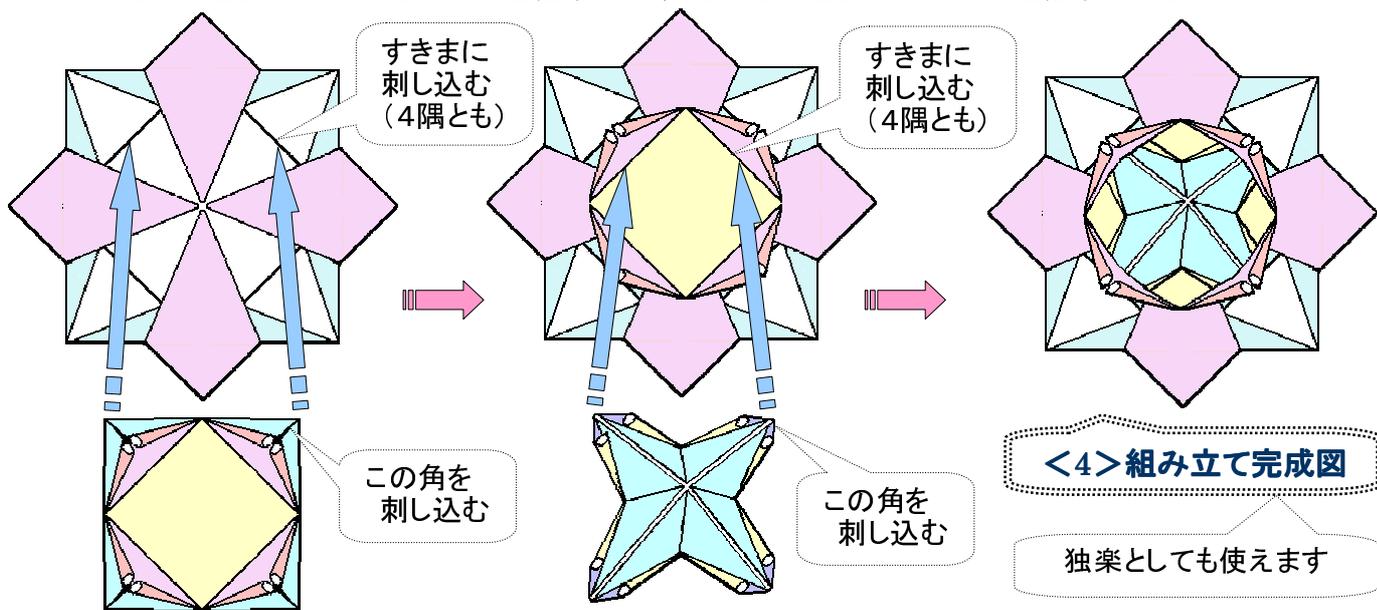
※注意: 片面が色紙の場合は無色を上(表)にして折ってください。そのときは、全部が裏面の白となり折り方がわかりにくいので、ここでは折り方がわかりやすくするため便宜上、採色しました。

⑫ 出発点は⑩の裏面からです。⑪とは裏表が違いますが、全く同じ要領で折る。最後に、山折りと谷折りに従い忠実に折ると、中央が立体的に持ち上がってくる。これが完成図。(また、⑫の途中省略も可。)



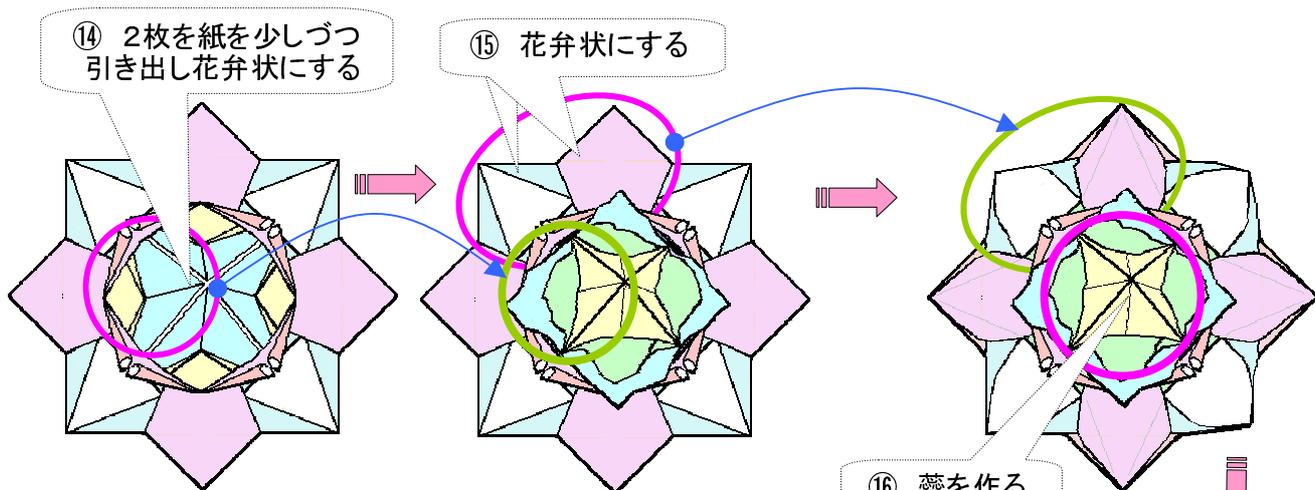
<4>組み立て (この組み立て作業で独楽(こま)ができるので、ちょっと遊ぶことができます)

⑬ 「外花弁」のすきまに「中花弁」の下側を組み入れ(刺し込む)、さらに「内花弁」を組み入れる。



<5>仕上げ (最後は、各自の感性で仕上げることになります。)

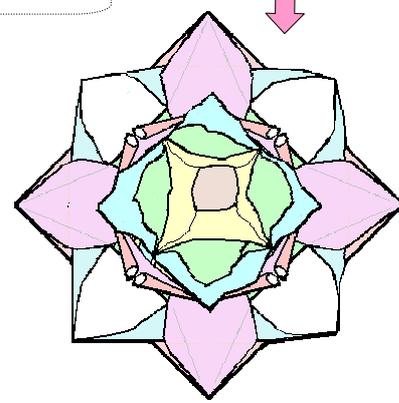
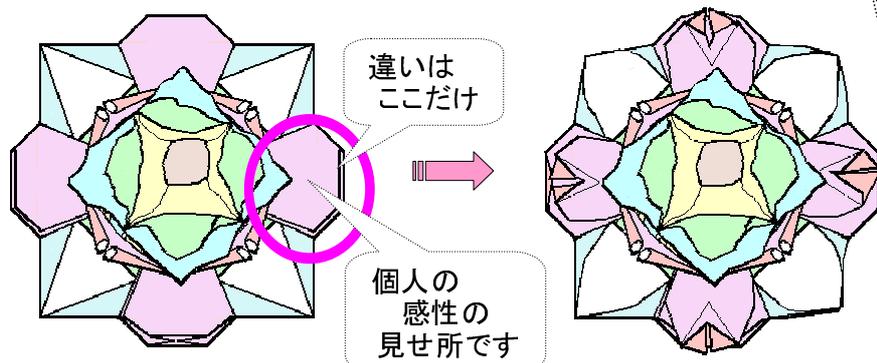
⑭ 内花弁の頂点に2枚の紙が重なっているの、これを少しずつ引き出し、指で花弁状にする。(4ヶ所とも)



⑮ 外花弁も指でうまく丸みをつける。(8ヶ所とも)

⑯ 内花弁の頂点を沈み折り風にして、薬状に仕上げれば、完成。

⑰ ⑫で沈み折りをしてあるならば、
⑬~⑯とほぼ同じ作業で図のように完成させる。
さらに重なった部分をハサミで切り二重にしてもよい。



睡蓮の完成図

睡蓮の完成図: 中級編